

## 令和8年度の委員会運営方法について

### 1 付議事件

誰もが居場所と役割を持ち、いきいきと生涯活躍できるまちづくりや地域コミュニティの活性化に関すること。

（参考：昨年度の調査・研究テーマ）

年度	調査・研究テーマ
令和7年度	つながり再構築に向けた地域支援について

### 2 特別委員会運営方法（市会運営委員会申し合わせ・確認事項抜粋）

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取（学識経験者）などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するとき議長に提出するものとする。

### 3 令和8年度調査・研究テーマ案

#### 人生100年時代における新たな社会参加の在り方について

（テーマ選定理由）

長寿化の進展による人生100年時代の到来に伴い、年齢を問わず全ての市民が地域社会と関わり続け、いきいきと暮らすことのできる環境づくりが重要となっている。

特に高齢者にとっては、その一人一人の希望や能力に応じた就労や身近な地域での活動等を通じ、積極的に社会へ参加することで孤立や孤独を防ぎ、さらには介護予防に取り組みながら健康寿命を延伸させることが大変重要となっている。また、これまで培った知識・経験を生かした「地域を支える担い手」として大いに期待されているところであり、このような活動の積み重ねが「活力のある地域」の実現につながることもである。

そうしたことを実現するためには、自治会・町内会や消防団等の既存の地域活動に加え、健康づくりや趣味活動、eスポーツ等の新たな交流領域、デジタルを活用した参加手法など、多様で参加しやすい「入り口」を整備し、高齢者が気軽に関わり始められる環境づくりが求められている。

こうした状況を踏まえ、多様なニーズに応じた参加機会の拡充や、段階的な関わりの仕組みづくりといった、新たな社会参加の在り方について検討する必要がある。そこで、令和8年度は、「人生100年時代における新たな社会参加の在り方について」というテーマで、調査・研究を行うこととしたい。